

2027 年度
大学院医学系研究科
(修士課程)
医科学専攻

学生募集要項

- 一 般 入 試 (第2次募集)
社 会 人 入 試 (第2次募集)

第1次募集で定員が充足した場合、第2次募集は実施しません。

信州大学

信州大学では、インターネットを利用した出願を実施しています。
出願方法等は、本学サイトを必ず確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php>

所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、志願者への緊急の連絡が必要となった場合は、ホームページでお知らせしますので、必ず最新の情報を確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>

目 次

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	3
1. 専攻及び募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 入学資格審査	5
4. 出願手続	6
5. 受験票	13
6. 選抜方法等	13
7. 合格者の発表	14
8. 入学手続	15
9. 受験上の配慮を必要とする志願者の事前相談	15
10. 注意事項	16
医学系研究科修士課程（医科学専攻）入学案内	18
医学系研究科修士課程医科学専攻研究案内	19

信州大学大学院入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・ 幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・ 知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・ 深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・ 社会・環境・国際問題に関心を持ち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・ 職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

信州大学大学院医学系研究科医科学専攻（修士課程） 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

医学系研究科（修士課程）医科学専攻は、医科学に関する幅広い知識を体系的、集中的に教育することにより、ヒューマンサイエンスに裏付けられた高度に専門化した知識と技術を結びつけた医科学分野の研究・教育者並びに高度専門技術者を養成することを目的とします。

医科学専攻では、本専攻の目的を達成するために、

- 1 21世紀の医学を支える研究者
- 2 高度の専門性を有する医療職業人
- 3 医療・福祉・介護・看護分野の行政官
- 4 健康教育を担う教育者を目指し、それにふさわしい情熱と基礎学力を持つ人

を求めています。

上記に掲げた素養を持つ学生を選抜するために、次のような入試を行います。

- ・「外国語（英語）」で最新の医科学英語論文を読み解く力を評価します。
- ・「面接」で総合的に医科学研究に対する興味と情熱を評価します。

1. 専攻及び募集人員

専攻	募集人員
医科学	若干人 (社会人入試若干人を含む。※)

※ 社会人入試は、現に、企業等に勤務している技術者、教育関係者及び研究者等の社会人に対し、大学院の授業、研究指導等を受け最新の医学知識・技術を学び取り、高度な医学研究能力、医療技術能力を身につけることを目的として導入しました。詳細については、志望教室の担当教員にお尋ねください。

- ・各教室の研究内容は信州大学大学院医学系研究科修士課程医科学専攻研究案内（19 ページから 22 ページ）を確認してください。
- ・遺伝医学教室の遺伝カウンセリングコース、スポーツ医科学教室の健康推進コーディネータ養成コース（社会人入試）、耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室の人工内耳コース、麻酔蘇生学教室の高度実践看護師（周麻酔期看護師）コースについては、それぞれの教室の担当教員に詳細をお尋ねください。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者が出願できます。なお、社会人入試志願者は、本研究科入学時に企業等に就業している者としします。

- (1) 大学（修業年限4年以上）を卒業した者又は2027年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2027年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
- (5) の 2 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2027年3月31日までに22歳に達するもの
- (10) 大学に3年以上在学した者又は2027年3月までに大学に3年以上在学する見込みの者であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了する見込みの者であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
- (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了する見込みの者であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
- (13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は2027年3月までに修了する見込みの者であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの

3. 入学資格審査

『2. 出願資格（8）～（13）』に該当する者は個別に資格審査を行いますので、受付期間内に、それぞれ該当する欄の申請書類を持参又は郵送により提出してください。

(1) 入学資格審査申請書受付

受付期間 2026年10月13日（火）～10月16日（金）

受付時間 9時～17時

（郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着）

提出先 信州大学大学院医学系研究科入試事務室

〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号

(2) 申請書類

①『2. 出願資格（9）』に該当する者

入学資格審査申請書 (様式5)	本研究科所定の用紙
最終学歴に関する証明書	卒業（修了）証明書、成績証明書 (短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科を卒業（修了）した者は、短期大学又は高等専門学校の卒業（修了）証明書、成績証明書を併せて提出してください。)
最終学歴の学校に関する資料	入学資格、卒業（修了）要件、修業年限が記載されている資料
その他学修に関する資料	履修要覧、科目等履修生等の成績証明書等関係書類
返信用封筒 (入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記して、110円分の切手を貼ってください。

②『2. 出願資格（8）、（10）～（13）』に該当する者

入学資格審査申請書 (様式5)	本研究科所定の用紙
在学証明書又は在学期間証明書	出身大学（学部・研究科）長が作成したもの
学業成績証明書	出身大学（学部・研究科）長が作成し、厳封したもの
推薦書	学科主任、指導教授等が作成したもの（様式任意）
その他学修に関する資料	履修要覧等関係書類
返信用封筒 (入学資格審査結果送付用)	長形3号の封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記して、110円分の切手を貼ってください。

(3) 資格審査

入学資格審査は、提出された申請書類により学修歴、実務経験、研究業績等を基に行います。

(4) 結果通知

2026年10月29日(木)

同日中に本人あてに審査結果通知書を発送します。入学資格を認定された者は、出願手続きをしてください。

4. 出願手続

本学では、インターネットを利用した出願方法を導入しています。

(1) 出願期間

2026年11月2日(月)～2026年11月11日(水)

書類持参の受付時間 9時～17時(ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。)

(郵送の場合は簡易書留速達郵便とし、出願期間内に必着とする)

- ・インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料等の支払いは、2026年10月26日(月)から可能です。

(2) 出願方法

※インターネット出願の詳細については、10ページからの「(8) インターネット出願の流れ」を参照してください。

(注) 出願はインターネット出願登録サイトでの登録完了後、入学検定料等を支払い、出願書類を郵送して完了となります。

登録が完了しても出願期間内に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

Step 1～5 出願内容の登録等(顔写真のアップロードを含む。)

この募集要項を熟読のうえ、出願する内容に間違いがないように登録してください。(特に、入試区分、志望専攻・分野等)

Step 6 入学検定料の支払い

ア 入学検定料 30,000円

※その他システム利用料(900円)が必要となります。

イ 支払期間 2026年10月26日(月)～11月11日(水)

(注)支払方法の詳細については、インターネット出願登録サイト上で確認してください。(クレジットカード等のペーパーレス決済)

Step 7 出願書類等の提出(持参もしくは郵送)

出願確認票をインターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」から印刷し、必要書類(「(4) 出願書類等」を参照)とともに市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に入れ、その封筒に出願登録サイトの「申し込み一覧」から印刷した宛名ラベルを貼り付け、入試事務室に持参、もしくは簡易書留郵便で郵送してください。

※「3. 入学資格審査」で、個別の入学資格審査により「入学資格認定書」の交付を受けた者は、そのコピーを添付してください。

Step 8 受験票の印刷

「受験番号確定メール」を受信後、インターネット出願登録サイトから印刷してください。（※郵送はしません。）

(3) 出願書類等提出先

信州大学大学院医学系研究科入試事務室
〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号

(4) 出願書類等

入学志願者は、次の書類等を取り揃えて出願期間内に提出してください。

- ① インターネット出願登録サイトから印刷する書類等
※印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。

出願書類等	書類の説明
出願確認票	A4サイズの用紙に印刷してください（白黒印刷可）。
宛名ラベル	印刷したものを市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼り付け、出願書類を入れて郵送してください。

- ② インターネット出願登録サイトでアップロードが必要なもの（郵送による提出不要）

出願書類等	書類の説明
写 真	受験票用顔写真の画像ファイルをアップロードしてください。 ・志願者本人のみ（出願3か月以内に撮影した上半身、正面向き、無帽、無背景、枠なし）でカラー撮影したもの ・ファイル形式は JPEG 又は PNG とし、高画質（100KB～5MB）で撮影したもの（写真サイズは縦横比4：3） ・不鮮明なもの、背景が暗いもの、画像に加工を施しているもの等は使用できません。

- ③ 本専攻の Web サイトからダウンロード・印刷して準備する書類

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/admission/m-science/>

出願書類等	書類の説明
志望理由書（様式1）	志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。大学で卒業論文を作成した者はその題目を記入してください。
受験承諾書（様式2） 【注1】	第1志望教室および第2志望教室の担当教員が作成したものとします。
受験及び修学承諾書（様式3）	入学後も引き続き勤務する所属組織がある場合は、所属長が作成した受験及び修学承諾書を提出してください。
外国人留学生申請書（様式4）	<u>【外国人志願者のみ提出してください。】</u>
受験タイプ選択確認書（様式6）	<u>【外国人志願者及び海外在住の日本人志願者のみ】</u> 希望する受験タイプ（「本学での面接」もしくは「オンライン面接」）を選択してください。

【注1】 事前に志望する教室の担当教員に相談のうえ、出願してください。

④ 志願者が準備する書類等

出願書類等	書類の説明
卒業（見込）証明書 【注2】	出身大学（学部）長が作成したものとします。（中途退学者は退学証明書又は在学期間証明書を提出してください。）
成績証明書	出身大学（学部）長が作成したものとします。 大学院研究科修士（博士前期）課程修了者は、学部在籍時の成績証明書を提出してください。
「住民票の写し」又は「パスポート」のコピー	【外国人志願者のみ提出してください。】 現に日本に居住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」を所持している者は、「住民票の写し（居住している市町村長が発行したもの）」1通を提出してください。 それ以外の者は、「パスポート」のコピー（氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分）を提出してください。
「入学資格認定書」のコピー	【該当者のみ提出してください。】
外部英語スコア	TOEFL iBT (Home Edition を含む)、IELTS (Academic Module) または TOEIC (L&R) のスコアを提出してください。 【提出期限：2026年12月1日（火）】 詳細は「6. 選抜方法等」を確認してください。

【注2】 出願資格（2）による出願者は、大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与（見込）証明書を提出してください。

(5) 出願に際しての注意事項

- ① 入学検定料支払期間内に入学検定料が支払われないもの及び出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ② 受理した出願書類等は返還しません。
- ③ 入学検定料の返還請求は、次の場合のみ受け付けます。それ以外の場合は、いかなる理由があっても支払い済みの入学検定料は返還しません。返還には別途手続が必要です。手続き方法については、本学のホームページをご覧ください。（入試情報ポータル／入学検定料返還手続 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）
 - ・入学検定料を誤って二重に支払った場合
 - ・入学検定料を支払ったが出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
 - ・入学検定料免除を申請する場合
- ④ 提出された書類等に虚偽の記載があった場合には、入学許可を取り消します。
- ⑤ 書類等の提出後、受信場所（志願者連絡先）を変更した場合は、直ちに信州大学医学部大学院係に連絡してください。

(6) 志望教室への配属について

各教室において受け入れできる学生数に限度があるため、特定の教室に希望者が集中した場合は、志望の教室に配属されない場合があります。

第1志望の教室に配属されない場合に、他の教室への配属を希望する者は、出願時に第2志望教室を出願確認票（大学提出用）および志望理由書に記入して下さい。

受験承諾書は第1志望教室、第2志望教室それぞれの担当教員が作成したものを提出してください。

なお、第2志望教室を記入していることが、第1志望教室への配属に影響することはありません。

(7) 入学検定料免除について

信州大学では、次の要件を満たす申請者の入学検定料を全額免除します。

【入学検定料免除の要件】

志願者又はその学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、居住する住家が全壊、大規模半壊又は半壊の被害を受け罹災証明書（写し）が提出できる場合であって、その罹災日が出願期間の最終日前1年以内であること。

※災害救助法適用地域（日本学生支援機構サイト）

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/rinji/chiiki/genzai.html>)

【申請方法】

罹災証明書を用意し、インターネット出願登録サイトから申請してください。

ただし、災害の発生が出願期間の直前等で、罹災証明書の発行が間に合わない場合は、出願時は一旦入学検定料を納付し、後日罹災証明書が発行され次第、入学検定料返還申請により受け付けます。

※信州大学入学検定料返還手続

(https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return/index.html)

(8) インターネット出願の流れ

インターネット出願の流れ

※ここで示す流れは標準的なイメージであり、選抜により異なります。実際の画面に従って入力等してください。

出願完了までの流れ[Step1~8]



Step 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。学生募集要項を本学ホームページからダウンロード・印刷し、よく読んでうえで出願登録を行ってください。出願書類等※は、発行までに時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類等…選抜によって異なります。(調査書、顔写真画像ファイル、大学入学共通テスト受験票など) 詳細は学生募集要項を参照してください。

Step 2 インターネット出願登録サイトにアクセス

学部入試、編入学

https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/

大学ホームページからアクセス

大学院入試

<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/>

Step 3 新規登録・ログイン

画面の手順に従って、必要事項を入力して新規登録を行ってください。なお、新規登録が済んでいる場合は、ログインのうえStep 4へ進んでください。

① PC等の環境確認

② 注意事項の確認

③ ログイン画面から **新規登録** をクリック

④ アカウント新規登録用メールアドレス送信

⑤ 登録したメールアドレスに登録用URLが届きます。
※@kkc-net.co.jpのドメインからのメールを受信可能に設定してください。

⑥ パスワードを設定してください

登録したメールアドレスとパスワードを記録!

Step

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①入試区分等の選択
(検定料免除申請確認も含む)



②志望学部・学科等の選択



③個人情報の入力



④お支払い方法の確認



⑤入力内容の確認



⑥登録完了(確認メールも送信される)
申し込み一覧 をクリック

Step

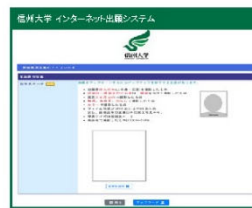
5

顔写真のアップロード

画面の手順や留意事項を必ず確認してアップロードしてください。



①申し込み一覧画面(※)から
写真のアップロード をクリック



②画像を選択しアップロード



画像の加工禁止

※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。

Step

6

入学検定料等の支払い 【注意】まだ出願は完了していません

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って支払手続を行ってください。



①申し込み一覧画面(※)から
検定料のお支払い をクリック



②支払方法を選択し
お支払いサイトへ をクリック



支払方法の詳細は
サイト上で確認してください
(クレジットカード
等の電子決済)

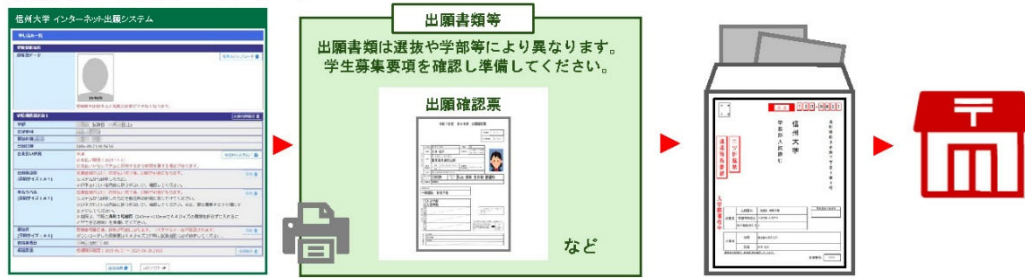
※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。

Step

7

出願書類等の郵送

出願登録、入学検定料の支払後に「出願確認票」「宛名ラベル」を印刷し、その他の出願書類等と併せて出願期間内に郵送してください。



①申し込み一覧画面(※)から
出願確認票 **印刷**、宛名ラベル **印刷** をそれぞれクリック

②宛名ラベル(出願書類等提出用)
を角形2号封筒に貼り付け

※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。



申込登録完了後に、登録内容の修正・変更をする場合は、Step7で印刷した出願確認票の「訂正あり」欄にチェックを入れた上、用紙に赤字で訂正記入してください。ただし、「入試区分」、「志望学部・学科等」、「個別試験選択科目」、「試験場選択」の変更は認められません。

<出願完了>

出願時の
注意点

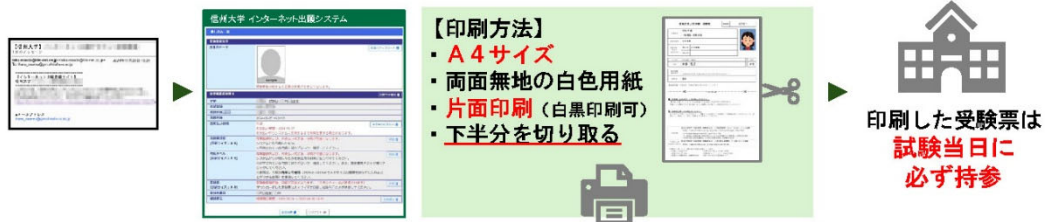
出願はインターネット出願登録サイトでの登録完了後、入学検定料等を支払い、出願書類等を郵送して完了となります。登録が完了しても**出願期間内に書類が届かなければ出願を受理しません**ので注意してください。出願期間は学生募集要項をご確認ください。インターネット出願登録は出願期間の約1週間前から24時間可能です。

Step

8

受験票の印刷

受験番号確定後に、インターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」画面からダウンロードできます。出願登録サイトで登録したメールアドレスへ「受験番号確定メール」を送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。(※郵送はしません)



①受験番号確定
メール受信

②申し込み一覧画面から
受験票 **印刷** をクリック

③試験当日

5. 受験票

受験票は、受験番号確定後にインターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」からダウンロードできます。出願登録サイトで登録したメールアドレスへ受験番号確定のメールを送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。（白黒印刷可）

なお、印刷した**受験票**は、**試験当日に必ず持参**してください。

受験番号確定のメールが試験日の1週間前になっても届かない場合は、速やかに入試事務室に問い合わせてください。

6. 選抜方法等

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、外部英語スコアの評価、面接の結果及び出願書類等を総合して行います。

① 外国語（英語）

TOEFL iBT (Home Edition を含む) または IELTS (Academic Module) または TOEIC (L&R) のスコア提出により、本学の英語筆記試験に換算して英語力を評価します。

【TOEFL iBT (Home Edition を含む)】

◆2026年1月20日以前のスコア

TOEFL iBT 72 以上を 100 点とする。

72 未満の場合：換算点 = $100 \times (\text{TOEFL iBT スコア}) / 72$

◆2026年1月21日以降のスコア

TOEFL スコア	2.5	3	3.5	4 以上
換算点	47	61	80	100

スコア提出方法

以下の①、②の2つを提出してください。

① TOEFL iBT (Home Edition を含む) テストのスコアデータ

TOEFL 受験者用サイト「ETS アカウント (My TOEFL Home)」の「My Test (もしくは My Score)」で、下記コードを検索して提出してください。

提出先コード 医学系研究科：G065

② 「TOEFL iBT (Home Edition を含む) テストの Test Taker Score Report」

TOEFL 受験者用サイト「ETS アカウント (My TOEFL Home)」からダウンロードできる Test Taker Score Report を印刷して、提出してください。

【IELTS (Academic Module)】

IELTS スコア	4.0	4.5	5.0	5.5 以上
換算点	58	72	86	100

スコア提出方法

Test Report Form (公式成績証明書) を提出してください。

【TOEIC (L&R)】

TOEIC (L&R) 730 点以上を 100 点とする。

730 点未満の場合：換算点 = $100 \times (\text{TOEIC のスコア}) / 730$

スコア提出方法

以下の①、②の2つを提出してください。

①「TOEIC Listening & Reading テストのスコアデータ」

TOEIC 申込サイトトップページの「テスト結果確認」から「大学・企業へのスコア提出」をクリックし、提出先団体選択で下記申請コードを入力し、提出する公開テストのスコアを選択して提出してください。

提出先コード 信州大学入試 医学系研究科：00030521

②「デジタル公式認定証」

TOEIC 申込サイトからダウンロードできる認定証のPDFを印刷して、提出してください。

※①、②の両方がそろわない場合は、TOEIC Listening & Reading 公式認定証（郵送された原本）と写しを1部提出してください。確認後、後日、原本を返却します。

- ・いずれも試験日から2年以内のスコアに限ります。
- ・2026年12月1日（火）までに必着にて信州大学大学院医学系研究科入試事務室へ提出してください。

② 面接試験

下記の日程で、本学の試験場における面接試験、もしくはオンライン面接を実施しますが、外国人志願者及び海外在住の日本人志願者のうち希望する者は本試験場での面接に替えて、オンライン面接で受験することができます。

【本学の試験場における面接試験】

国内在住の日本人志願者、試験場での面接を希望する外国人志願者

試験日時・場所

期日	時間	科目等	試験場
2026年12月1日（火）	13:00～	面接	信州大学（松本キャンパス） 旭総合研究棟（9階）

※ 12時30分から受付を行います。

※ 12時50分までに受付を済ませてください。

※ 面接時間は、当日、試験場前の廊下に掲示します。確認後、控室で待機してください。

【オンラインによる面接試験】

外国人志願者及び海外在住の日本人志願者のうち、希望者

本学の試験場における面接試験に替えて、2026年12月1日（火）午後の本学の指定する時間にZoomによるオンライン面接試験を実施します。事前接続テスト、試験開始時間及び実施方法の詳細は出願受付後に出願時にインターネット出願登録サイトで登録されたメールアドレスあてに連絡します。

7. 合格者の発表

合格者発表日時 2026年12月10日（木） 14時

受験者は、上記の日時以降にインターネット出願登録サイトにログインし、可否を確認してください。（同サイト内の「申し込み一覧」から「合格者発表確認」をクリック）

なお、電話やメール等による可否のお問い合わせには応じられません。

8. 入学手続

合格者は、入学手続期間中にインターネット出願登録サイトにログインし、「申し込み一覧」の「入学手続」から手続を行ってください。期間中に入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。

(1) 入学手続期間 2026年12月15日(火)～12月21日(月) 締切日17時まで

(2) 入学料の納入等

- ① 初年度納付金(入学料・授業料)の額
 - ア 入学料 282,000円 ※入学手続期間中に納入
 - イ 授業料(前期・後期)各267,900円〔年額535,800円〕 ※入学後に口座振替で納入

(注1) 金額は2026年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。

(注2) 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

(注3) 入学料・授業料の納入が著しく困難な入学者には、経済支援の制度を設けています。詳細は本学の学生総合支援センターホームページ(https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentsupport/)を確認してください。

- ② 学生保険料(学生教育研究災害傷害保険加入料・学研災付帯賠償責任保険加入料※)
※入学手続期間中に納入
- ③ その他システム利用料(入学手続時納入総額の2%の額)
- ④ 上記のほかに、入学後には教材費等が必要となります。

(3) 入学手続完了後の提出書類等

4月初めに、以下の書類を提出してください。提出がされない場合は、入学後でも入学許可が取消しとなる場合がありますのでご注意ください。

- ① 「卒業(修了)証明書」1通
出願資格において、卒業(修了)見込みで受験し入学手続を行った者。
- ② 「誓約書」1通
本人と保証人連署の本学指定様式で全員提出。詳細は「入学手続の案内」で通知予定。

(4) 手続に当たっての注意事項

入学手続完了者であっても2027年3月31日までに入学資格を満たすことができない者は入学を許可しません。

9. 受験上の配慮を必要とする志願者の事前相談

本学の志願者で、障害等(視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、発達障害、病弱等)のために受験上及び修学上の配慮が必要な場合は事前相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願を検討している段階のなるべく早い時期に、以下の連絡先へ事前相談のうえ、申請期限までに申請してください。

事前相談のあったものについて、本学で審査のうえ、それぞれの障害等の種類・程度に応じた受験上の配慮を決定し通知します。また、必要に応じ志願者等との面談等を行うこともあります。

(注) 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に医学系研究科入試事務室へ相談してください。

- (1) 申請書類
 - ① 本学所定の事前相談申込書
本学のホームページ（入試情報ポータル／受験上の配慮を必要とする志願者の事前相談 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）大学院入試の様式等からダウンロード
 - ② 医師の診断書や障害者手帳の写し
- (2) 申請期限
入学資格審査受付期間初日 17 時までには必着
- (3) 提出先
信州大学大学院医学系研究科入試事務室（医学部大学院係）
〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号
- (4) 申請期限後の不慮の事故等による場合の配慮
申請期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、その際にご相談ください。

10. 注意事項

- (1) 志願者はあらかじめ、志望する教室の担当教員と研究内容等について相談のうえ、出願してください。
- (2) 遅刻限度の方針
 - ① 交通機関の事故等により、各試験で定めた集合時間に間に合わない場合は、直ちに大学へ連絡してください。これによる遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。なお、本学においては、追試験の設定はありません。
 - ② 災害等及び交通機関の事故等により、所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は、試験開始時刻の繰下げ等の措置を行うことがあります。
 - ③ 本専攻が定める試験科目を一つでも受験していない場合には、欠席者となり、合格者とはなりません。
- (3) 不正行為
 - ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできません。また、すでに受験した民間の英語能力測定試験及び面接試験の成績も無効となります。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
 - ア インターネット出願登録サイトや出願書類等へ故意に虚偽の登録・記入（本人以外の写真を使用する、民間の英語能力測定試験の成績を改ざんするなど）をすること。
 - イ 面接試験で虚偽の回答をすること。
 - ウ 面接試験中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
 - ※ オンライン面接に必要な機器の使用を除きます。
 - ※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（面接試験中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。（「9. 受験上の配慮を必要とする志願者の事前相談」を参照）
 - ② 上記①以外にも次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、上記①と同様です。

- ア 面接試験中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、使用を許可されたもの以外の用具、教科書、参考書、辞書等の書籍類等をかばん等にしまわず、身に付けたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信、アラーム、振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

信州大学大学院医学系研究科修士課程（医科学専攻）入学案内

1. 目的

本大学院医学系研究科修士課程（医科学専攻）は、医科学に関する幅広い知識を体系的、集中的に教育することにより、ヒューマンサイエンスに裏付けられた高度に専門化した知識と技術を結びつけた医科学分野の研究・教育者並びに高度専門技術者を養成することを目的とします。

2. 標準修業年限

2年

3. 履修方法

本研究科において2年以上在学し、研究指導を受け、必修科目26単位、選択必修科目4単位以上、合計30単位以上を修得します。

なお、社会人入試入学者においては、原則として1年次に必修科目及び選択必修科目を履修し、2年次には、就業している職場に勤務しながら指導教員から研究指導を受けるものとします。

4. 学位授与

本研究科に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格した者には、修士（医科学）の学位が授与されます。

5. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料（前期）267,900円（後期）267,900円

金額は2026年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。

6. 奨学金制度

日本学生支援機構から大学院学生に対する奨学金制度があります。学業成績及び研究能力、家庭の経済的事情等を考慮し、選考により奨学金が貸与されます。

信州大学大学院医学系研究科修士課程医科学専攻研究案内

※各メールアドレスの後の「shinshu-u.ac.jp」を省略してあります。

教室	担当教員 メールアドレス	内 容
国際医学研究推進学	田中 直樹 naopi@	脂肪性肝疾患の診断・予防・治療に関する国際共同研究、生活習慣病に対する機能性食品の開発や医農連携、ICTを用いた医学教育や国際交流・留学・研究支援システムの開発、国際医学教育のアウトカムの検討などを行っている。
循環病態学	新藤 隆行 tshindo@	生活習慣病や循環器疾患をはじめとして、がん、腎不全、肝不全、肺線維症、サルコペニアなど、血管の恒常性破綻から引き起こされる様々な病態を対象に、そのメカニズム解明や治療法開発研究を行っている。特にクリスパー/Casなどのゲノム編集法を改良して教室オリジナルの遺伝子改変マウス（ノックアウトマウス、トランスジェニックマウスなど）を樹立し、その解析のため最先端の医学研究手法を包括的に導入している。 (https://www7a.biglobe.ne.jp/~shindo/)
スポーツ医科学	増木 静江 masuki@	ヒト、動物で個体レベルの研究を行い、競技、健康スポーツなど、現場で役立つ運動環境生理学の修得をめざしている。 ※健康推進コーディネータ養成コースの詳細については、スポーツ医科学教室ホームページを参照 (https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/i-sports/)
組織発生学	城倉 浩平 kohei@	腎臓の発生と再生に関する研究、多能性幹細胞を用いた再生医学・疾患病態探索・未分化維持機構に関する研究を行っている。
人体構造学	福島 菜奈恵 nanae@	神経系の構造と機能に関する形態学的な手法を用いた研究および解剖体を用いた肉眼解剖学的な研究を行っている。
分子病態学	沢村 達也 sawamura@	「ヒトは血管とともに老いる」といわれる。老化につながる血管機能異常のメカニズムを解明し、それに基づく新しい診断・治療法を開発を行っている。
分子細胞生理学	田淵 克彦 ktabuchi@	脳の生理機能について分子細胞生物学的手法を用いて研究し、精神活動が発現するメカニズムの解明をめざしている。また、これらの破綻によって引き起こされる精神・神経疾患の病態生理について研究を行っている。
分子薬理学	木村 航 watarukimura@	ヒトをはじめとした哺乳類では、ライフサイクルでの代謝状態の変動と、各種臓器の再生能力とが連動することが知られています。こうした代謝・再生関連の分子実体の解明と、その知見を基盤とした新たな臓器再生法となる創薬標的の発見と検証を行っています。現在は心臓を主な標的にしていますが、神経系をはじめとした他の臓器も研究対象としています。
臨床薬理学	内藤 隆文 naitou@	生体試料中薬物濃度の高感度迅速測定法の開発や医薬品の効果・副作用の予測を通じて、合理的薬物治療の構築に関する研究を行っている。(https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/department/master/i-pharm/)
免疫制御学	山条 秀樹 hsanjo@	炎症反応、免疫応答、組織修復に関わる単球/マクロファージの発生・分化・機能発揮の制御機構について、細胞内シグナル伝達に着目して研究を行っている。

※各メールアドレスの後の「shinshu-u.ac.jp」を省略してあります。

教室	担当教員 メールアドレス	内 容
分子医化学	平塚 佐千枝 hira@	がんを中心とした炎症病態に対する分子生物学的手法を用いた研究を行っている。扱う標的は、核酸、タンパク質。細胞からマウス個体レベルまで、幅広い解析をして治療法を探る。特にがんの転移抑制、膵臓がんの早期診断治療研究に力をいれています。
(内科学第一) 呼吸器内科学 感染症内科学 アレルギー内科学	花岡 正幸 masayuki@	COPDや喘息の病態解明、急性・慢性呼吸不全の呼吸管理と治療、間質性肺炎や呼吸器感染症の治療法開発、肺癌の個別化医療、高地医学などに関する研究を行っている。
(内科学第二) 消化器内科学 腎臓内科学	上條 祐司 yujibeat@	消化器内科は、ウイルス肝炎、脂肪性肝疾患、自己免疫性肝疾患、消化管疾患、胆膵疾患を中心に基礎的および臨床的研究を行っている。腎臓内科は腎臓病や血液浄化に関する基礎的および臨床的研究を行っている。
(内科学第三) 脳神経内科学 リウマチ・ 膠原病内科学	関島 良樹 sekijima@	アミロイドーシスなどの蛋白質のミスフォールドに起因する神経変性疾患および膠原病関連神経疾患の分子病態解析、早期診断法の開発、病態に即した治療法の開発に関する研究を行っている。
(内科学第四) 糖尿病・ 内分泌代謝内科学 老年医学	山崎 雅則 macha@	糖尿病を代表とする生活習慣病の病態と治療に関する臨床研究と各種ホルモンの分泌や作用機序に関する基礎的研究を行っている。
(内科学第五) 循環器内科学	桑原 宏一郎 kkuwah@	心不全など心血管病の病態解明、治療法創出を目指して動物・細胞モデルを用いて行う基礎的研究と循環器疾患の臨床研究を行っている。
小児医学	中沢 洋三 yxnakaza@	CAR-T細胞を用いたがん免疫療法の基礎研究および臨床開発を行っている。また、ジュニア世代のスポーツ医学研究も行っている。
皮膚科学	奥山 隆平 rokuyama@	悪性黒色腫を中心とする皮膚腫瘍、乾癬やアトピー性皮膚炎といった炎症性疾患を中心に病態解析と新規治療の開発を目指した研究を進めている。
画像医学	藤永 康成 fujinaga@	画像診断、Interventional radiology ならびに放射線治療における放射線医学の臨床研究を行っている。
(外科学) 消化器外科学 移植外科学 小児外科学	副島 雄二 ysoejima@	消化器領域癌、肝移植や膵島移植に関する研究を行っている。
(外科学) 心臓血管外科学	瀬戸 達一郎 seto@	心臓・血管疾患の外科治療に関する研究、動脈モデルを用いた移植・再生医療研究、新しい医療材料の開発を行っている。
(外科学) 呼吸器外科学	清水 公裕 kmshimizu@	肺癌、転移性肺腫瘍、縦郭腫瘍に対する分子生物学的研究および肺癌に対する遺伝子改変T細胞療法の開発を行っている。また、動物モデルを用いた肺の再生医療および呼吸生理に関する研究も行っている。
(外科学) 乳腺内分泌外科学	伊藤 研一 kenito@	乳癌と甲状腺癌を中心に臨床で経験される疑問や問題点の解決を目指した腫瘍学の研究を行っている。腫瘍のバイオロジーや様々な薬剤に対する耐性機構の解析を、培養細胞と臨床検体を材料に、分子生物学的手法を用いて行っている。

教室	担当教員 メールアドレス	内 容
産科婦人科学	宮本 強 tmiya@	卵巣がん、子宮がんなどの婦人科悪性腫瘍の発生や浸潤・転移の機序を病理学的、分子生物学的に研究を行っている。婦人科悪性腫瘍の実験モデルを作成し、研究をおこなっている。また、妊娠高血圧腎症の新規予防・治療法の開発を目指して研究を行っている。
泌尿器科学	秋山 佳之 yoshiyuki-akiyama@	下部尿路疾患の診断、治療、予防について分子レベルから下部尿路機能の統合的制御機構を含めて包括的な研究を行っている。研究から得られた下部尿路疾患の診断・治療・予防に有益となる情報に基づいて、個々の患者さんに即した質の高い医療を実現するための第一歩となること、国内外に先端的な研究成果を発信することを目指している。 (https://shinshu-urology.jp/)
運動機能学	高橋 淳 jtaka@	整形外科分野における組織再生（軟骨、骨、靭帯腱、脊髄など）を目指し、骨の生体材料の開発、脊髄・末梢神経障害の病態の解明を行っている。地域コホート研究により、脊柱、腱、関節、筋の加齢変化によるロコモティブ症候群の頻度、発生を調査している。
形成再建外科学	杠 俊介 yuzuriha@	小児先天奇形、再建外科、血管腫・血管奇形、顔面計測学、創傷治療、イモリによる再生の基礎などに関する研究を行っている。
麻酔蘇生学	田中 聡 s_tanaka@	麻酔科学にとってもっとも重要な、侵襲から生体を防御する全身管理学の発展に寄与するために、痛みや麻酔のメカニズム、麻酔薬による神経毒性のメカニズムなどの研究を行っている。
歯科口腔外科学	栗田 浩 hkurita@	口腔ケア・口腔機能管理に関する基礎及び臨床研究、口腔領域における組織再生(骨、粘膜など)、口腔機能と全身との関連等について研究を行っている。
精神医学	鷺塚 伸介 swashi@	発達障害を主とした児童思春期における心の問題、成人のうつ病・双極性障害・不安障害などをテーマに社会精神医学的アプローチに基づく研究を行っている。
脳神経外科学	堀内 哲吉 tetuyosi@	「低侵襲・機能温存手術」をキーワードに、より安全な手術を行うための術前画像診断、手術シミュレーション、術中神経機能モニタリング、術中腫瘍の可視化、手術アプローチ、手術器具の開発、手術ロボットの開発、などに取り組んでいる。
眼科学	村田 敏規 murata@	主要失明原因であり、今後も糖尿病患者の激増に伴い、患者の増加が見込まれる糖尿病網膜症の病態のさらなる解明と、患者負担が軽い革新的治療法の開発を目指した基礎研究を行う。
耳鼻咽喉科頭頸部外科学	工 穰 takumi@	人工内耳センターを中心に、人工内耳装用効果・人工内耳ハビリテーション・難聴の原因（遺伝子）・聴覚検査法に関する研究を行っている。
遺伝医学	古庄 知己 iden@	遺伝医学研究および遺伝カウンセリングコース (https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/chair/PM/index.html) の2コースがある。

※各メールアドレスの後の「shinshu-u.ac.jp」を省略してあります。

教室	担当教員 メールアドレス	内 容
衛生学公衆衛生学	野見山 哲生 nomiyama@	環境・産業医学、疫学、公衆衛生学、臨床疫学にかかわる諸問題、テーマについて、実験的手法、大規模データの分析を含む疫学的手法などを用いて研究、社会実装を行っている。
病態解析診断学	上原 剛 tuehara@	附属病院で検査部を担当し、教室員の出身母体も研究領域も多岐にわたる。腫瘍病理、遺伝子検査、感染症検査および検査の活用にも力を入れている。
法医学	浅村 英樹 houigaku@	法医遺伝子学、法医病理学、法中毒学、DNA タイピングと疾患原因遺伝子の解析の研究を行っている。
救急集中治療医学	今村 浩 imamura@	救急医学、集中治療医学、災害医学に関する研究を行っている。
血液・腫瘍内科学	牧島 秀樹 makishimah@	がん薬物治療、血液疾患および緩和医療における基礎および臨床的研究を行っている。また医師をはじめとする各医療人が、どのようにがん患者に対して医療チームとして支援体制に寄与するかを研究的に分析している。
再生医科学	柴 祐司 yshiba@	幹細胞を用いた再生医療の研究を行っている。遺伝子工学、分子生物学、細胞生物学、動物実験などの様々な技術を駆使して病気の解明と新しい治療法の開発を目指す。研究テーマは学生と相談の上、決定します。幅広い分野の学生の研究参加を期待しています。
医学教育学	森 淳一郎 jimori@	医学教育ならびに医学シミュレーション教育を実践し、よりよい医療人を育てるシステム開発を目指す。また、修士学生諸君が将来所属する病院でシミュレーション教育の指導者となれるように教育方法と訓練方法を研究する。
医療情報学	北口 良晃 kitaguti@	研究テーマはご相談の上で決定しますが、病院情報システム・地域医療情報連携ネットワークに関する研究、リアルワールドデータのプラットフォームを用いた研究などを行えます。

この募集要項に関する照会先
信州大学大学院医学系研究科入試事務室

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
TEL 0263(37)3376 (直通)
FAX 0263(37)3080

信州大学大学院医学系研究科ホームページ
<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>

※個人情報の利用について

信州大学における入学試験を通して取得した個人情報については、入学試験のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 修学指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。